

### 第3回 矢部川学識者懇談会 議事概要

日時 :平成 28 年 6 月 30 日(木) 10:00~12:00  
場所 :国土交通省筑後川河川事務所会議室  
出席 :(委員)小松委員長、猪上委員、岩淵委員、加藤委員、駄田井委員、  
福永委員、矢野委員、吉村委員  
(事務局)国土交通省富岡筑後川河川事務所長 他

#### I. 次第

1. 開会
2. 挨拶 筑後川河川事務所 事務所長
3. 議事
4. その他(今後の予定)
5. 閉会

#### II. 主な意見等

【◎は委員の意見、○は事務局の発言】

議事1)矢部川水系河川整備計画(変更案)について【資料—2、3】

(主な意見)

- ◎住民の方の意見を受けて、整備計画(変更原案)の更新は行ったのか。
- 今回の整備計画(変更原案)は、住民の方の意見を反映した現整備計画の変更案であり、今回聴取した意見の大半は整備計画(変更原案)に反映されており、結果として、それによる整備計画(変更原案)の更新は行っていない。
- ◎アンケートの属性が男性の比率が多いが、今後は自助・共助が大事であると認識している。今後は回答の男女比が同程度になることが望ましい。
- ◎P68 生物の生活史という言葉は人間的な表現であるため、生物の生息などに変更してはどうか。
- 言葉の定義や与えるイメージを勘案し、表現の変更について検討する。
- ◎50 件程度の意見で住民全体の意見として少ないため、回答数を増やすようなイベントや講演会などを活用すべきである。
- 今後は地域連携・情報共有化を行いながら多く意見を取り入れるように意見の場を広げたい。
- ◎最新調査において、福岡県 RDB で絶滅危惧種 1A である「ウマスゲ」を確認したため、P45 矢部川水系で確認された重要種への反映を検討頂きたい。
- 調査結果等を踏まえ、記載の追加を検討したい。
- ◎P30 熊本地震に関連した地震対策について、具体的に矢部川で事前の準備や対策が現段階であるのか。
- 堤防の耐震性能照査の結果に基づき、必要な耐震対策について高潮対策と合わせて整備することとしている。また H24 九州北部豪雨の際に資材備蓄や運搬に関する課題が挙げられており、防災拠点の整備など、今後、改善に向けて市町と協議する必要がある。
- ◎P1 流域内人口について、データを統一した方がよいのではないか。
- 「流域内人口」と「主な都市の人口」の統一を図ることができるか確認する。

- ◎矢部川流域に活断層はあるのか。
- 矢部川において手元の資料では断層は確認されていない。
- ◎矢部川のキャッチフレーズについて、もっと矢部川らしいフレーズの方が望ましい。
- 「水」「緑」「人」は都市計画にも入っているキャッチフレーズである。今後、他に適したキャッチフレーズがあれば模索していく。
- ◎本文 P23 汽水域で農業用水の取水が困難な状況であったとの記載について、干満を利用した淡水(アオ)取水に関する記述を追加したほうがよい。
- 追加文言について検討を行う。
- ◎魚がいっぱい住む河川を望む意見が挙げられている。矢部川においては、産卵場が減少したことによりアユが減っている。環境に配慮した整備をお願いしたい。
- ◎45 矢部川水系で確認された重要種の種類数について、クスノキ林や群落を区別し、26 種 2 群落にした方がよいのではないか。
- 確認した上で一覧表の修正を行うこととしたい。

議事2)矢部川直轄河川改修事業の事業評価【資料—A、参考資料 A】

(主な意見)

- ◎P10 の全体事業の氾濫図に対し、当面事業での氾濫図はどのようになるのか。
- 支川整備が残っているため、支川飯江川が氾濫した浸水図となる。
- ◎P4 「災害実績」について、実績という表現は通常良い意味で使うため、この表現は見直した方がよいのではないか。
- 他の事例等を確認したい。
- ◎気候変動等も考慮した対応が必要。橋梁架替においては、将来を見越して、橋桁を高めにするなど、余裕をもった整備をしてほしい。
- 施設応力を上回る洪水等への対応について、粘り強い堤防の整備やソフト対策などを進めていくこととしている。橋梁架替は、最終目標を見据えた整備をすることとしている。
- ◎P11 基本方針相当の流量では溢れるという認識でよいか。
- ご認識のとおり。
- ◎審議結果は、対応方針(原案)のとおりとする。

以上